

[報告]

第 116 回サイエンスカフェ 「スーパーコンピュータの驚異的な力」の開催報告

東北大学サイバーサイエンスセンター 小林広明

平成 27 年 5 月 29 日金曜日の午後 6 時から仙台メディアテークにおいて、第 116 回サイエンスカフェ「スーパーコンピュータの驚異的な力」が約 100 名の一般市民の皆様をお迎えして開催されました。

サイエンスカフェでは、まず、スーパーコンピュータの高い計算能力が生み出される仕組みから、その能力を活用するシミュレーション技術、そしてその技術が私達の生活にどのように役立っているかについて講演を行いました。スーパーコンピュータが研究者のための研究基盤としてではなく、私達の生活の安全・安心を支える社会基盤として活用されつつある事例として、私達がサイバーサイエンスセンターのスーパーコンピュータを活用して研究開発を行っている「リアルタイム津波浸水被害予測システム」を、南海トラフ大規模地震を想定してのデモを行いながら、紹介しました。また、参加者の皆様に簡単な計算を解いていただき、参加者全員による並列処理を実体験していただきました。

ディスカッションの時間では、大学院生を中心に 10 人程度のグループに分かれて議論が行われ、「半導体技術の限界とその解決法」といった専門的なことからスーパーコンピュータの排熱利用の身近なアイデアなど、幅広い話題で大いに盛り上がりました。

当日の様子は、YouTube 東北大学チャンネル

(<https://www.youtube.com/user/tohokuuniversity>)で公開される予定です。

